

長ねぎ



○定植適期について

チェーンポット育苗

◎定植苗の姿

- ・草丈：17～20cm
- ・太さ：3～4mm
- ・葉枚数：2.0～2.5葉

【苗が伸びすぎた場合の剪葉方法】

伸びすぎた葉を15～17cmの長さにカット

例) 1回目 本葉1.5葉期

2回目 定植5日前くらい(本葉2.5葉)

※剪葉は、完全展開している葉を切り、伸長中の新葉は切らないこと。

剪葉した葉は、育苗箱内に残らないようにする。

○定植後の管理ポイント

今年は定植後の低温が予想されます。生育・活着を促進するため、定植後に不織布(パスライト等)のベタ張りをして保温することで、低温や降霜を回避することができます。

山うど



○種株の準備

- ・株分けは萌芽が始まる前までに行い、大きく充実した芽が1芽になるよう株分けする。
- ・健全な株を種株に利用し、腐敗している株は使用しない。
- ・根の長さは15～20cm前後になるよう切断し、細かい根や根の先端部分は腐敗しやすいので取り除く。

○種株の植え付け

- ・圃場はできる限り連作を避け、排水の良い圃場に植え付けする。
- ・植え付け時期は霜害防止のため、4月中旬～5月上旬に植え付けする。(晩霜の約1ヶ月前)
- ・畦間130～150cm、株間50～60cmの1条植えで、できるだけ芽を上にして植え付け、覆土は5～10cmとする。紫芽の白・東武鯉玉は密植とする。(約1,200～1,300株/10a) 群豊白・愛知坊主は疎植とする。(約1,000～1,100株/10a)
- ・極端な深植えはのぼり芽の要因となるので注意する。

きやべつ



○定植前の栽培管理について

1. 128穴トレイ苗は本葉2葉期頃に肥料がきれる。水20ℓに液肥50mlで40枚(400倍)
2. 育苗期はハウス内温度を20℃以上にしない。
3. 育苗期にべと病予防をする。水20ℓにダコニール20mlで40枚(1,000倍)
4. 灌水は朝に行う。
5. 定植1週間前には苗を外気に慣らす。本葉3枚～3.5

枚頃が定植適期。

6. 定植直前に、スタークル顆粒水和を苗に散布する。残効があるため、省力化となる。
7. 定植2週間前までには、堆肥・土壌改良剤散布。定植1週間前までには基肥を散布。生育期に高温乾燥被害を受けるとカルシウム欠乏による障害を受けるため、カルシウム剤の施用を薦める。
耕起はできる限り条件の良い状態の時に進行。輪作しても根こぶ病が発生する可能性があるため、気になる方はネビジンやオラクルを使用する。
8. 定植は温暖な日に行う。極端な深植えは避ける。

アスパラガス



○萌芽への準備について

露地アスパラガスの萌芽が始まってきますので支柱を立てたり、支柱を直したりしておきましょう。また、追肥として窒素成分で1反歩あたり2～4kgの散布を行いましょ。S555で15kg～20kgです。

新規で青果物を栽培したい方へ

営農計画策定支援システム(新Z-BFM)を活用し、個々の実態・意向を反映した品目提案をいたしますので、お気軽にご連絡ください。

問合せ先:

能代地区(営農企画課): 55-0777

二ツ井地区(二ツ井営農センター): 73-5193

藤里地区(藤里営農センター): 79-1644